

梅窓院通信

春彼岸号

No.123
2023/02/01

青山



御忌大会が催される大本山増上寺の三門。

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島 真成



令和五年もはや二月を迎えます。皆様、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、この四月には浄土宗大本山増上寺の御忌法要で唱導師を勤めさせて頂くこととなりました。前号の『青山』でお知らせさせて頂きましたが、先々代、先代に続く三代目としての大役。増上寺より昨春秋には親書、今冬には教書を授かり、生涯一度の晴れ舞台に向け習礼（練習）も重ねております。

こうして大役を果たせるのも梅窓院の法灯を継承してきた歴代住職、お寺を支え続けて頂いた檀信徒の皆様、ご先祖様のお陰と御礼申し上げます。つきましては誌面からではありませんが、お一人でも多くの皆様にご参拝頂きますよう衷心よりお願い申し上げます。

お練りの稚児行列には幼稚園児から小学校低学年のお子さんまで、保護者様ともどもご参加頂けます。また、増上寺周辺には名所旧跡も数多く、法要と併せてお楽しみ頂けるかと存じます。

四月六日、平日の木曜日になりますが、どうぞご家族皆様でご参加頂ければ幸いに存じます。

さて、春彼岸会ですが、四年ぶりに郡上八幡物産展を開催いたします。観音堂に郡上の名産品の数々が並びますので、彼岸法要の前夜にお立ち寄り、お楽しみ下さい。

そして令和五年前期の仏教講座が始まります。本誌の「梅窓院を囲む人々」に、仏教講座の先生方にご登場頂きます。はや二十年になりますこの仏教講座、気軽に仏教に触れて頂く場を目指しております。本誌で先生方の講座への思いをお読み頂ければ、講座がより身近なものになると存じます。

最後になりますが、御忌法要へのご参列、重ねてお願い申し上げます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

春彼岸法要

三月二十一日(火・祝)

彼岸寄席

春彼岸法要

午後二時〜地下二階 祖師堂

午後二時〜地下二階 祖師堂

※場所や内容が変更になる場合がございます。

プロフィール

たしかわ こたんし
立川小談志師匠

岐阜県出身。
昭和五十一年九月八日生まれ。
本名 寺田政春



経歴

一九九九年五月 立川談志に入門。
前座名「談吉」。
二〇〇七年七月 ニツ目昇進、
「泉水亭錦魚」を襲名。
二〇一一年十一月 談志死去のため、
二〇一二年四月 龍志門下へ。
二〇一五年十月 真打に昇進、
二代目「立川小談志」を襲名。

塔婆申込み方法

塔婆回向料…1本/7,000円

- ・同封のハガキにご記入の上、**3月10日(金)必着**でお申込み下さい。
- ・塔婆回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いはできません。)

東京都に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出された場合

彼岸寄席を中止とし、2階本堂にて法要の様子をライブ配信予定です。お席のご用意はございませんが、法要中はお焼香頂けますので、宜しければ本堂へお参り下さい。お塔婆につきましては、法要後に僧侶にて建てさせていただきます。



最新情報は梅窓院ホームページをご覧ください。
<https://www.baisouin.or.jp/>

梅窓院ホームページのQRコード

春彼岸とは

彼岸会とお墓参り

一年に二回、昼と夜の長さが同じになる日をお彼岸の中日として、その前後三日ずつ、中日をいれて七日間がお彼岸になります。日本で始まった行事で、お墓参りをする習慣となっています。

春彼岸物産展

3月21日・22日 観音堂

4年ぶりに特産品が目白押し
の郡上八幡物産展が梅窓院に
帰ってきます！この機会にぜひ
お求め下さい。



春彼岸会によせて

まだまだ寒い日が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、先だってお伝えしてありますが、一月に増上寺にて行われました教書伝達式にて、小澤憲珠(こざわけんじゆ)法主(ほふしゅ)台(たい)下(げ)より正式に、当山住職(とうざんじゆく)を今春の増上寺御忌(きよぎ)大会(たいかい)五日目(ごにち)目(め) (四月六日)日中法要(にちちゆうぼうぎやう)唱導(しょうどう)師(し)に任命(にんめい)いただきました。

私はと申しますと、当日は受付・団参を担当させていただきましたこととなりました。例年、増上寺御忌では東京教区内外からいらつしやる団参の案内を若手僧侶の集まりである青年会でお手伝いしておりますが、この度は梅窓院の檀信徒の皆様と一緒に増上寺に参拝できることを今から大変楽しみにしております。

合掌
(副住職 中島真紹)

令和5年 春のペット慰霊法要のお知らせ

梅窓院僧侶がご供養を勤めます。ぜひご参列下さい。なお、感染状況によってはライブ配信に切り替える可能性もございますので、予めご了承下さい。

正午〜 2階本堂にて

主催:株式会社ジャパンエキスパートシステム



〈春彼岸中のお檀家様へお願い〉

- ・お彼岸前後の土・日・祝日はお参りに来られる方で境内が大変混み合います。ご来寺の際は感染症対策をした上で電車等、公共交通機関をご利用下さい。
- ・3月18日〜24日まで、境内駐車スペースは、お体のご不自由な方、車椅子をお使いの方の車を優先とさせていただきます。ご協力お願い致します。
- ・会場内の空調は微調整が難しいため、ご自身で温度調整できる服装でご来寺下さい。

2023年4月6日(木)
梅窓院 中島真成住職が
唱導師を勤めます

参加特典

①参加費無料

増上寺より

②記念品贈呈

※増上寺への参拝冥加料2,000円は梅窓院が負担致します。

※詳細につきましては、同封のチラシをご覧ください。

※当日の流れは変更になる場合がございます。

当日の流れ

2023年4月6日(木)

1 増上寺集合(12:30)

※昼食の用意はございませんので、各自でお済ませの上お越し下さい。

※当日は増上寺に梅窓院受付を設けております。お祝い等をお持ちの方は受付にお納め下さい。

増上寺の布教師による御説教をお聞きます。

2 御説教拝聴

3 日中法要参列

増上寺ならではの特別な法要の導師を
中島住職が勤めます。

過去に脇導師を勤めた中島住職。



4 記念撮影

法要後、増上寺法主、御忌唱導師と一緒に記念撮影を行います。



5 増上寺解散(15:30予定)

御忌大会 特別記念参拝

大河ドラマ「どうする家康」で大注目！
徳川家ゆかりのお寺・増上寺最大行事

お申し込み

御忌大会特別団体参拝及び
お稚児さんお申し込みはこちら

令和5年3月24日(金) 締切

〒107-0062
港区南青山2-26-38 梅窓院広報部(青山文化村)
TEL:03-3404-8588/FAX:03-3404-8436
E-mail:bunkamura@baisouin.or.jp

屋台も並ぶ御忌大会

御忌の期間中は境内に、食べ物、お菓子、お土産品など数々の屋台が並びます。また浄土宗東京教区青年会による東日本大震災の被災地復興支援の物販売テントも出ています。



お稚児さん、募集します

令和五年四月六日(木)、午後一時半からのお練り行列に参加するお子様を募集します。幼稚園児から小学校低学年までを対象としています。

当日は着物に髪飾りをつけ、保護者様と一緒に約五百メートル歩きます。法要の最初に唱導師(中島住職)より健やかに育つようにと、頭上に仏様の聖水をかける灌頂(かんじょう)をしてもらいませう。



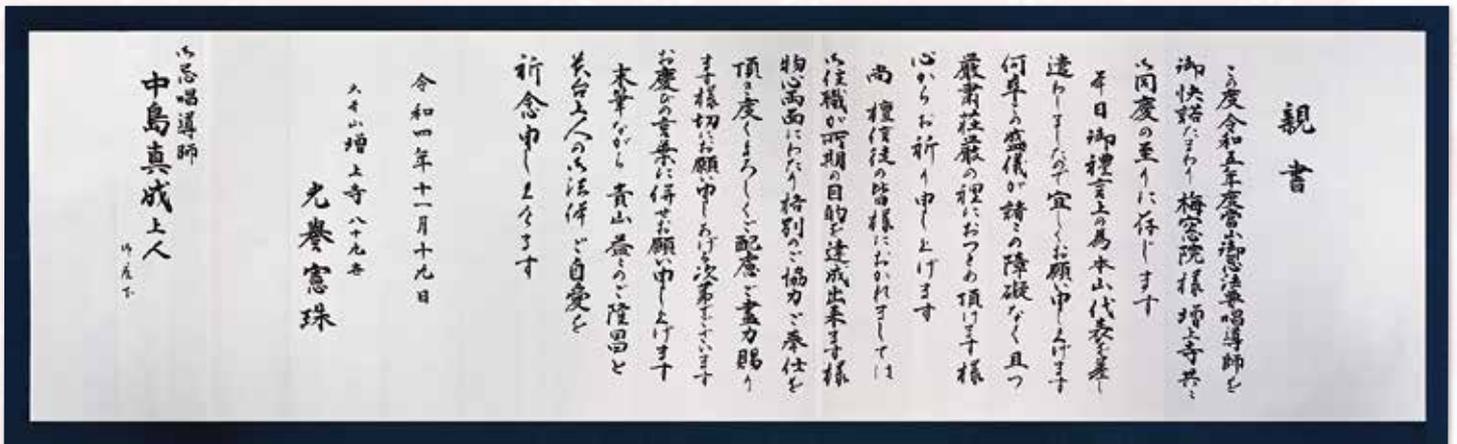
この度、梅窓院中島真成住職は、浄土宗大本山増上寺で行われます御忌大会唱導師を拜命し、四月六日(木)の増上寺の日中法要に唱導師として出座することと相成りました。

梅窓院では昨年十一月の十夜会に併せて親書伝達式が行われました。増上寺執事長が梅窓院を訪れ、直接住職に法主名の親書を手渡されました。文面の中には以下の一文が記されています。

「尚 檀信徒の皆様におかれましては御住職が所期の目的を達成出来ませす様物心両面にわたり格別のご協力ご奉仕を頂き度くよろしくご配慮ご盡力賜ります様切にお願い申しあげる次第でございます」

そして、年が明けた一月二十五日、この日は法然上人の御命日になります。唱導師が増上寺へ参拝し法主から直接、教書を手渡されます。これを教書伝達式といえます。

この一文にもあるように、檀信徒の皆様のご協力が欠かせないものになっております。どうぞ、ご家族・ご友人・お知り合いをお誘いあわせの上、ご参拝下さい。なお、参加費となる増上寺の参拝冥加料は梅窓院で負担させて頂きます。当日の流れは右頁をご参照下さい。



大本山増上寺より拝受した親書

（もっと）知りたい増上寺

◀ 増上寺の約2万坪の境内には本堂(大殿)などの伽藍から、記念碑や供養塔など見所がたくさんあります。また、現在の10倍もあった旧境内地には史跡や緑や自然が残っています。御忌参拝の前後に、あるいは日を改めての散策で訪れたい、とっておきのスポットをご案内します。



詠唱発祥の地・記念碑

詠唱はここ増上寺で誕生しました。三門に入って左手、参道脇に建っています。



御成門

徳川将軍が増上寺を訪れる時に使われた将軍専用の御門です。プリンスホテル北側道路脇に。



芝東照宮

増上寺南側公園に隣接しています。御祭神は徳川家康公です。



紅葉谷のもみじ滝

増上寺の裏手、東京タワーの足元になんと滝が流れています。紅葉にとっても映えています。

梅窓院を囲む日々

梅窓院仏教講座講師・
大正大学名誉教授・香蓮寺住職

勝崎 裕彦(かつぎき ゆうげん)先生

今回から、梅窓院の仏教講座の講師をお勤め頂いている先生方にご登場頂きます。講座に参加されている皆様はもちろん、まだ参加されていない皆様にも講座の内容や先生方のお人柄に触れて頂ければ幸いです。

◆先生には平成16年6月15日から講義をしていただいています。心掛けていらっしゃることは何でしょうか。

勝崎 裕彦先生(以下勝崎) 最初の講義から19年経つのですが、私の講義の基調は、大乘仏教菩薩思想を中心としたお話をさせていただき中で、< 覚りを開かれた仏 > と < 仏の覚りを求めて努力する菩薩 > について説き進め、語り継ぐことです。

◆大乘仏教の菩薩思想ですね。

勝崎 はい、私は大乘仏教の出発点を担った『般若経』を研究対象として勉強してきましたので、おのずから大乘仏教の釈尊観・仏陀観、菩薩思想が講義内容の根底にあります。そのことは当然のことながら、私ども浄土宗のご本尊阿弥陀仏、そしてその阿弥陀さまの因位の修行時代の法蔵菩薩のありようへの関心と尊崇に帰着するわけです。

◆浄土宗に繋がっているのですね。

勝崎 はい。そして講義ではできるだけわかりやすくお話すること、一つひとつの言葉を大切にはっきりと発音して、一語一句、一文一節、抑揚や区切りに気をつけて、やさしくお話すること、しかもやさしい心をお話することを心掛けています。ですが、実はいささか乱暴で、粗雑なお話をずっとしてきたのではないかと、いつも、そして今も、現在も不安でなりません。



梅窓院にお越し頂き、客殿でお話しを伺いました。

◆私たち広報部も聴かせて頂いていますが、そんなことはないかと思います。

勝崎 それならいいのですが。いつもお席に坐っていただいて、感謝しています。

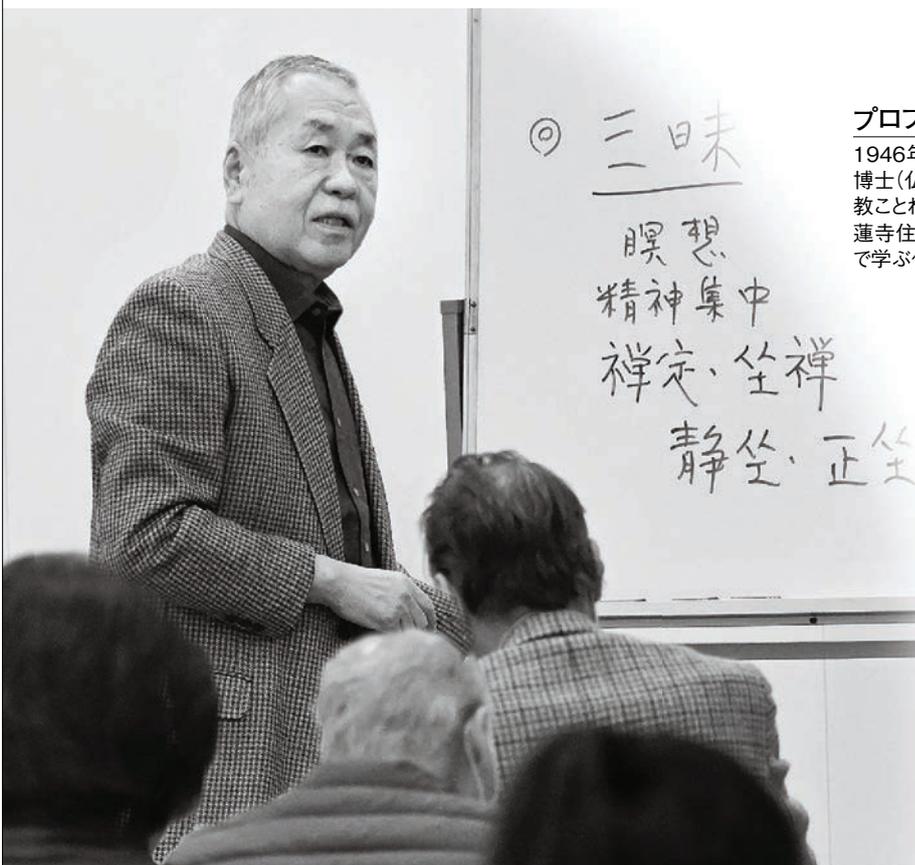
◆先生にとって仏教講座とは？

勝崎 講義場の広く明るく整った環境、そして時折おこなわれる茶話会の懇親の場も含めて、肩のこらない和気藹々とした雰囲気、それこそやさしい「仏教講座」の時間と空間ですので、私にとってかけがえのない講座です。

◆最後に梅窓院とのご縁を教えてください。

勝崎 梅窓院さんと小寺、香蓮寺は同じ東京教区城西組ですし、お寺の距離が近いこともある上、名利梅窓院さまへお伺いさせていただきご縁のありがたさを深く感じています。浄土宗の近代教育を大きく導かれた先々代中島真孝上人、豪胆にして繊細な慈愛深かった先代中島真哉上人への敬慕の思いをこめて、これからも講義を続けさせていただければと思っております。

◆お忙しい中、本日はありがとうございます。



プロフィール

1946年生まれ。1976年、大正大学大学院博士課程修了。博士(仏教学)。専門は大乘仏教菩薩思想、般若経研究、仏教ことわざの研究。大正大学元学長・名誉教授。浄土宗香蓮寺住職。著書は『仏教ことわざ辞典』(溪水社)、『ことわざで学ぶ仏教』(日本放送出版協会)ほか。



勝崎先生のお寺、香蓮寺の最寄り駅は信濃町駅。

食は命

第九十回
武鈴子 食養生研究家

春のお彼岸と言えば、牡丹餅を思い浮かべる方も多いでしょう。赤い小豆餡をまぶしたところが、牡丹の花に似ていることから、また、牡丹は春に咲く花なので、春のお彼岸に食べるものを「ばたもち」と呼ぶようになりました。(語源由来辞典)

牡丹の花は、中国の国花。その美しさから唐代の玄宗皇帝や楊貴妃をはじめに人民に広く愛されていたといわれますが、実は薬草としても有名な植物。2000年前から栽培されていたといわれています。根の皮を乾燥させたものが「牡丹皮(ポタンピ)」と呼ばれる漢方薬になり、血液の滞りによるさまざまな症状に利用されます。女性の無月経や生理痛、腹部の腫物などに桂枝などと配合されたり、産後の衰弱や血の道などには当帰などと組み合わせられたり、女性にみられるあらゆる症状に不可欠な植物です。花びらのあでやかさ同様、牡丹の根の漢方薬で女性の肌色も美しくなることでしょう。

さて、「暑さ寒さも彼岸まで」といわれ、この日を境に寒さも峠を越して徐々に温かい気候となるとされています。次の季節への移行期は、五行説では「土用」に配当されますが、この時季は体のバランスを崩しやすい。昔の人は、季節の変わり目は気をつけるように、と教えていました。五行説でも土用の時季は脾胃に負担がかかり、脾胃の養生が大切と教えています。

お彼岸の牡丹餅やお萩は、脾胃が喜ぶ食べもの。理に叶った健康食なのです。



営業時間/
ランチ(土日祝日のみ) 11:30~15:00
ディナー 17:30~22:30

定休日/月曜日、その他不定休あり
※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、店舗の営業時間が変更となる場合がございます。最新情報は店舗まで直接お問い合わせ下さい。

席数/18席
(カウンター8席、個室2部屋4名・6名)
住所/東京都港区赤坂2-17-59
エスポワール2F
TEL/03-6426-5872



カウンター席では店主・渡邊様の見事な腕前を間近で見ることが出来ます!



伝統的な和食の型を大切にしているランチコース。



青山散歩道

赤坂 渡なべ

今回は東京メトロ赤坂駅から徒歩5分、溜池山王駅から7分のところにある日本料理屋「赤坂 渡なべ」をご紹介します。

笑顔が愛くるしい店主の渡邊雄二郎様は新潟県出身でご実家は仕出し屋さん。そのため、生まれたときから料理人を目指していたと言っても過言ではないのだとか。2018年に「赤坂 渡なべ」をオープン、2021年に内装を一新し、リニューアルオープンしました。コロナ禍で飲食店にとって厳しい時期でも客足が途切れなかった秘訣は、店主の明るい人柄とおもてなしを尽くしたその姿勢。お客様のニーズに優しく寄り添い、満足して頂けるよう尽力することがお客様との絆を深める第一歩だそうです。お

料理も季節の食材をふんだんに使用した絶品コースをご用意しています。

明るく朗らか、そして和食を極めた渡邊様の味が楽しめる「赤坂 渡なべ」、ぜひ足をお運び下さい。

飲食店を経営されている皆様へ

「青山散歩道」コーナーにて掲載にご協力頂ける飲食店を募集しております。

青山俳壇

選者「ウエッパ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

◎骨酒で政治談議や囲炉裏端

◎入選

◎療養を終へて息つく柚子湯かな

◎ためらいもなく散り急ぐ公孫樹

◎きりたんぼ鬻り今年の反省会

◎ストロップの前に集まる猫と僕

◎ノロウイルス心配だけど牡蠣旨い

◎大好きな炬燵を出して冬支度

◎手をつなぎ心和やか枯野行

◎大晦日仲間とかわす酒格別

◎初雪に溶ける初恋懐かしく

◎選者誌

◎綿毛が降りてくるのを待つてゐる

大崎

紀夫

ワンポイントアドバイス

一句の中に季語が二つ以上入っているのを「季重なり」といいます。それを認めない俳人はかなりいますが、わたしは認めています。これが主たる季語だと分かる場合、分からなくても読んで違和感がない場合、季節感がはつきり感じられる場合——などです。主たる季語と判断するひとつの基準は、ひとつが切れ字や「よ」の上に置かれているとき、上五か下五に置かれているとき——などです。ただ初心のころは歳時記でよく季語を調べなるべくひとつの季語にした方がよいかも知れません。

投句募集

今回は「春の季語」で自由にお詠み下さい。4月5日を締切、2023年6月発送の『お盆号』にて発表致します。郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係
FAX:03-3404-8436(青山文化村)
メール:bunkamura@baisouin.or.jp

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエッパ編集室
電話03-5368-1870

令和5年度 前期 仏教講座のご案内

梅窓院では4月より「令和5年度前期仏教講座」を開講します。今年度前期も4名の先生が担当します。どうぞお気軽にご参加下さい。
※詳細は別紙チラシをご覧ください。

行事予定

春彼岸会法要

3月21日(火・祝)
寄席 午後1時～ 祖師堂
法要 午後2時～ 祖師堂

3月21日(火・祝)～22日(水)
春彼岸物産展 観音堂
※詳細は3面をご覧ください。

はなまつり

4月2日(日)～8日(土)
2階 本堂
お釈迦様の誕生日をお祝いする「はなまつり」。寺院棟2階本堂エントランスに花御堂がございます。皆様どうぞご参拝下さい。



増上寺御忌大会団体参拝

4月6日(木)
※詳細は4・5面、別紙チラシをご覧ください。

大施餓鬼会法要

5月20日(土)

開山忌法要・能楽奉納

6月10日(土)

第83回 念仏と法話の会

6月15日(木)
講師:高知県 正福寺住職
月城嘉辰上人

発行 梅窓院
発行日 令和5年2月1日
発行人 中島 真成
編集 青山文化村
住所 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 03-3404-8447
FAX 03-3404-8107
ホームページ <https://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail jodo@baisouin.or.jp
題字 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

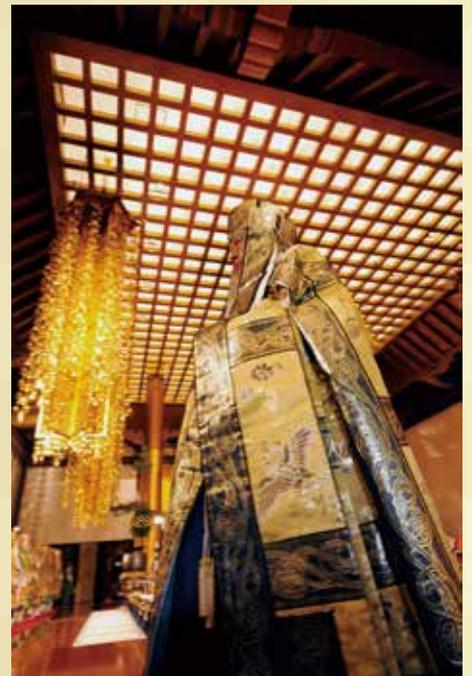
令和5年度 増上寺御忌団体参拝の お知らせ

参加費無料・お申込み受付中!

芝公園にある浄土宗大本山増上寺の令和5年度御忌大会にて、4月6日(木)に当院の中島真成住職が御忌法要の主役である唱導師を勤めることとなりました。それに伴い団体参拝を催します。

また、当日行われるお練り行列のお稚児さんも募集しております。とても良い記念になりますので、この機会にぜひお孫さんやお子様と一緒にご参加下さいませ。

詳細は4・5面と同封のチラシをご覧ください。皆様のご参拝をお待ちしています。



御忌に随喜する中島住職。

お知らせ

『消防訓練』

11月22日(火)梅窓院で消防訓練を行いました。僧侶や職員が消火活動を実践し、より一層防災意識を高めました。



『秋の火災予防運動への貢献』

11月10日(木)「火災予防業務協力者等表彰式」にて赤坂消防署より、日頃から管内の火災予防業務等に尽力したとして、感謝状が授与されました。



令和5年度請求時期のお知らせ

令和5年度の護寺費・管理費・年会費の請求書は4月中旬頃の発送を予定しております。お手元に届きますまで今しばらくお待ち頂きます様お願い申し上げます。

お檀家さんに伺いました

令和4年 秋彼岸会にて

『家族はいつでも一緒です』

本日は両親のお墓参りと二人が可愛がっていた猫が無礙光塔で眠っていますので、ペット慰霊法要に参列しました。

家族以外にはクールで気高く、とても愛らしい子で、母亡きあとは父を支える存在でしたが、父よりほんの一足早く旅立ってしまいました。供養について悩んでいた時にちょうど無礙光塔ができて、父母と一緒に場所に眠らせてあげることができて本当に有難かったです。今頃は両親と仲良くお空から見守ってくれていると思います。